

## 岐阜県立飛騨高山高等学校

学 校 長 滝村 一彦

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町 2000-30 電話 0577-32-5320  
(山田キャンパス) 高山市山田町 711 電話 0577-33-1060

1 会議の名称 平成27年度岐阜県立飛騨高山高等学校 学校評議員の会議 (第1回)

2 会議の構成 委 員 石井 充子 児童養護施設夕陽ヶ丘施設長  
清水 洋子 地元企業役員  
谷口 寿夫 飛騨農業協同組合代表専務理事  
松川 英明 高山グリーンホテル常務取締役  
美素ひとみ 岐阜県指導農業士

(委員名は五十音順)

学 校 側 滝村 一彦 校長  
田中 治 副校長 (全日制山田キャンパス)  
和田 英宏 副校長 (定時制・通信制)  
岩佐 智子 事務主幹  
細江 雅紀 教頭 (全日制岡本キャンパス)  
清水 明彦 教頭 (全日制岡本キャンパス)  
村井 真 教頭 (全日制山田キャンパス)  
日江井孝浩 教頭 (定時制)  
金子 佳弘 教頭 (通信制)  
大森 賢一 教諭 (全日制山田キャンパス 教務主任、記録)

3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成27年6月17日(水) 13:30~15:20 飛騨高山高校山田キャンパス会議室  
委員4人と学校側9人が出席

5 会議の概要 (進行 村井教頭)  
開会の挨拶 (田中副校長)  
出席者自己紹介  
学校評議員の委嘱 (滝村校長)  
授業参観 (全日制・山田キャンパスの第5限の授業)  
学校説明  
全体説明 (滝村校長)  
全日制 岡本キャンパス (細江教頭)、山田キャンパス (村井教頭)  
定時制 (日江井教頭) 通信制 (金子教頭)  
授業参観の感想及び学校への意見・要望等  
閉会の挨拶 (田中副校長)

## (1) 授業参観

## (2) 学校長挨拶・学校説明

教育方針は、「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指すことです。特に今年度は「文武不岐」を掲げ「文」も「武」も、両方ともに頑張れる生徒の育成に心がけています。

教育の重点としては、特色ある教育課程の編成に努め、学科・教科の枠を超えた連携を図ることで、自ら学ぶ意欲と態度を養い、問題解決能力を育成する中で確かな学力の向上に努める。また、「協調性や思いやりのある心豊かで規律正しい人間形成」、「集団の一員としての自覚をもたせ社会性と責任感の育成」、「部活動を充実し健康・体力の増進に努める」、「国際化社会に対応した広い視野と資質をもった人材育成」などを重点項目としています。

その後、以下の具体的な方策について説明。

### (1) 教科指導

各学科の特色を生かしつつ、基礎学力の充実に努める。

授業における言語活動の充実を図り、生徒の自主的・主体的な学習態度を育成する。

☆生徒目線で授業改善する。

・授業は日付とテーマ・課題を示してから始める。

・授業で生徒をよく見る・診る・看る。

### (2) 生徒指導

基本的生活習慣の育成と安全教育の充実に努める。

コミュニケーション能力を高め、集団の中で自分の役割を見だし積極的に行動できる資質を養う。

☆毎朝、出欠席を確認し記録する。

### (3) 進路指導

自己の在り方・生き方を考え、自己実現の達成に向けて主体的に努力する態度を育成する。

地域社会と緊密に連携したキャリア教育を進め、社会との関わりの中で「生きがい」を見出し、積極的に貢献できる人材を育成する。

☆どの生徒も地域で活躍できる場を創造する。

## (3) 今年度の課程別・キャンパス別学校状況の説明

### 【全日制 岡本キャンパス】

- ・全職員がアクティブラーニングに心がけ授業改善に取り組んでいる。先日も外部より講師を招き職員研修を開催した。
- ・進学希望者対象に「学習合宿」を行い、志を高くもたせ、学力の向上を図っている。
- ・部活動の成果として、女子ハンドボールの4年連続15回目のインターハイ出場を始め、陸上部、弓道部、レスリングで東海大会に出場する。
- ・多様な生徒に対応できるよう、柔軟な学校運営に心がけている。

### 【全日制 山田キャンパス】

- ・飛騨地区唯一の農業を学ぶ学校として農業後継者の育成に貢献している。
- ・3学科6コースを設置し、生徒の興味・関心にあった選択ができるような教育課程にしてある。
- ・各科で地域の関連産業や関連機関との連携を図り、地域に貢献する活動に取り組みながら、将来の産業人の育成を図っている。
- ・農業クラブ活動を通して、日頃の学習の成果を発表したり、運営に関わったりして部活動の他にも生徒が活躍できる場がある。

#### 【定時制】

- ・定時制に入学してくる多くの生徒は中学時に学習面や友人関係等であまりつまずいた生徒である。そのため「学び直し」に重点を置いている。すべての授業でプリントを活用し、少人数でも個人差が大きいためティームティーチングで対応している。なかには能力の高い生徒もおり、進路先も多方面にわたっている。
- ・通信制と連携を図りながら三修制で卒業することも可能で実際に頑張っている生徒がいる。
- ・近年生徒数も増えており、今後の定時制の役割は大きいと考える。

#### 【通信制】

- ・今年度プレスクーリングを実施し学校への適応を図った。今のところ出席率が高い。
- ・多様な生徒が在籍する中、通常のスクーリング（年：24日）の他、個別スクーリングを実施している。個別スクーリングを利用して3年間で卒業する生徒もいる。中には大学に進学するなど頑張って学習する生徒もいる。
- ・部活動では卓球で全国大会に出場する生徒がいる。

#### (4) 学校へのご質問・ご要望・ご意見および授業参観の感想

#### 【学校側の説明に対して】

意見1 授業、実習の見学を通じて、先生方が一生懸命指導していることがわかった。

意見2 マニフェストも少しずつ変更されており、工夫して運営していることがわかった。9月にインターンシップで生徒を2名預かっている。進路に悩む生徒や、初志貫徹で自分の思う進路に進む生徒がおり様々であるが、それぞれの生徒に寄り添って指導してほしい。

意見3 午前8:00～午後8:00までの学習合宿の目的は何か。また、部活動との両立は可能か。

学校側 生徒の志望も高く、希望を叶えるために行っている。この補習は3年生向けのものであり、部活動引退後に参加している。

意見4 就職、進学の見学希望についてはすでに調査をおこなっているか。

学校側 最終的な調査はこれからであるが、おおむね把握している。

意見5 養護施設からも飛騨高山高校の様々な課程に進学しているが、それぞれ元気に頑張っている。山田キャンパスは近くなので進学できるとよい。

意見6 メスの飛騨牛を育てているという説明があったが何のためか。

学校側 飛騨牛はブランドとして確立して評価も高いが、オス牛に対し、メス牛は育てにくく、飼う農家が少なく、他県に流出している現状がある。これを食い止めたいため、メス牛を飼う技術の確立を目指したい。

意見7 子供の貧困は深刻で経済的な理由で進学できない生徒も多いと思われる。養護施設にもぜひ相談してほしい。

### 【授業の感想】

意見1 環境学科の発表はきちんと発表されていた。生徒からの質問もあり、真剣に取り組んでいた。また実習についてはきめ細かく指導されており、素晴らしいと思った。

意見2 高いレベルで研究がされていると感じた。毎年レベルが上がっている気がしてうれしく感じた。冬の発表も楽しみにしている。

意見3 さらにいろいろな機会に授業を見学したい。生徒がさらに飛騨地区への地元就職を目指すように促してほしい。

意見4 プロジェクト発表は学年を越えた縦割りでよい機会であると感じた。また、実習は少人数で目が届き、刃物を用いた作業であるが安全に進められ、将来の職業人が育っていくのを目のあたりにできた。

### 6 会議のまとめおよび閉会

本日はたいへん貴重なご意見をいただきましたので全日制、定時制、通信制の全職員でご意見を活かしていきます。またいつでもご来校いただき、ご意見をいただくと助かります。本日はありがとうございました。